

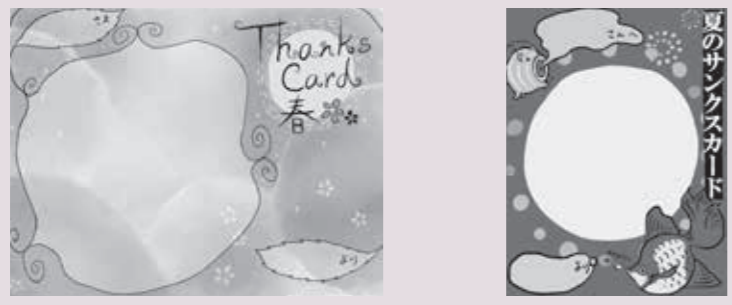
2 互いの長所に目を向けて働きがいと楽しみにつなげる! 感謝の気持ちを伝え合う「サンクスカード」システム

介護老人保健施設サンクス米山では、スタッフやご利用者・ご家族が互いに感謝の気持ちを伝え合う「サンクスカード」を活用し、スタッフのモチベーションアップにつなげています。この活動を「感謝(サンクス)を極め、自分らしさを磨く道」=「サンクス道」と呼び、施設全体がサンクス道を極めることを目指しています。

サンクスカードの進め方

1 サンクスカードを書いて、専用ポストに投函

スタッフ、ご利用者、ご家族などに向けた感謝の気持ちをサンクスカードに書き、施設内に設置された「サンクスポスト」に投函します。投函されたサンクスカードは、本人に届けられます。



カードのデザインは季節に合わせてバリエーション豊か!

2 サンクスカードの投函枚数に応じて、「サンクス道」昇格&表彰

サンクスカードの投函枚数に応じて、「サンクス道」の階級が上がり、特別なサンクスカードなどが授与されます。



- 3枚 サンクス道 初段
- ↓
- 5枚 サンクス道 二段
- ↓
- 10枚 サンクス道 三段 (スペシャルサンクスカード授与)
- ↓
- 39枚 サンクス道 名人 (ファンタスティックサンクスカード授与)
- ↓
- 100枚 サンクス道 師範 (認定証、記念品授与)

3 サンクスカードを最も多く受け取った人は「年間MVP」として表彰&記念品や特典授与



働きがいと仕事の楽しみにつながる「サンクスカード」

「サンクス道」昇格に応じた表彰&記念品

サンクスカード投函枚数10枚

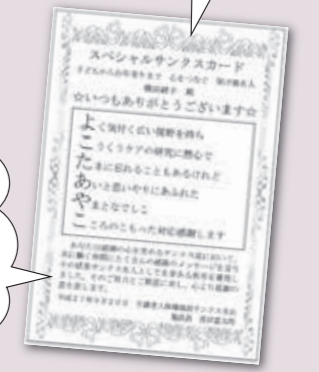
サンクス道三段

施設長より「スペシャルサンクスカード」を授与。

- 作成のポイント
- 称号などは、本人以外のスタッフ全員で長所などを出し合い、会議で決定する
 - あいうえお作文には、本人の短所も少し取り入れ、「それも含めて受け入れる」気持ちを込める

そのスタッフの良いところや得意なことを、名前のあいうえお作文で表現

〇〇名人、職人、師など、そのスタッフにしかない称号を付ける



サンクスカード投函枚数39枚

サンクス道名人

管理者より「ファンタスティックサンクスカード」を授与。

- 作成のポイント
- 管理者は、そのスタッフが今までに受け取ったサンクスカードすべてに目を通し、日ごろどのように仕事を頑張っているのか、現場での活躍を具体的に把握する

事務長直筆のメッセージ

スタッフを称える勲章



サンクスカード投函枚数100枚

サンクス道師範

施設長より、「師範認定証」と記念品(オリジナルバッグとマグカップ)を授与。



スタッフの似顔絵と名前をあいうえお作文入り!

同じ部署のスタッフたちの似顔絵入り

A4サイズがすっぽり入って便利!



4年間で書かれたサンクスカードは7,777枚!

感謝を言葉にし目に見える形に表すことが、モチベーションアップにつながる
 開始から4年目で投函枚数は7,777枚に到達。楽しみが増え、仕事において個性を発揮できているという実感や、モチベーションアップにつながったとの声が聞かれています。
 介護においてご利用者の強みや個性を生かしながら、その人らしい人生を支援するのと同様に、スタッフもそれぞれの強みや個性を生かしながら自分らしさを表現し、承認し合える職場環境作りが大切です。

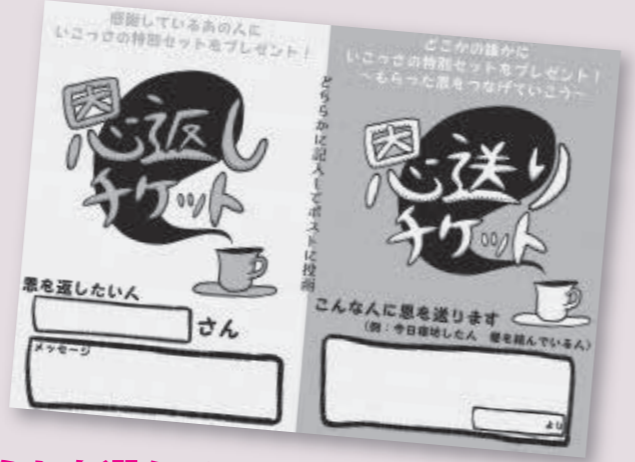
「サンクス道」の活動の詳細は、ブログでも紹介しています。
 ◆ 感謝の心を極める「サンクス道」のブログ☆作業療法士 小山智彦 (WWW.kaigogoyoukiki.net/niigata/blog/021/)

3 スタッフ間で感謝し支え合う関係を強める 感謝の輪をさらに広げる「恩返し」と「恩送り」

介護老人保健施設サクス米山では、前述の「サンクスカード」に加えて、受けた恩を相手に返す「恩返し」と、受けた恩をほかの人に送ってつないでいくことを意味する「恩送り」の活動を行っています。互いに感謝し合いながら働ける仕組みを強化し、業務へのモチベーション向上を図る取り組みです。

恩返し・恩送りの進め方

- 1 サンクスカードを書く
(サンクスカードについては、●ページをご参照ください)
- 2 サンクスカードを20枚書くごとに、「恩返し・恩送りチケット」が渡される
- 3 「恩返しチケット」「恩送りチケット」どちらかを選んでチケットをほかのスタッフやご利用者などにプレゼント



「恩返しチケット」を選ぶ場合

恩返ししたい相手の名前とメッセージを書き、サンクスポストに投函する。相手は、スタッフやご利用者など誰でもOK。

「恩送りチケット」を選ぶ場合

チケットを使ってほしい人の条件(例:○月生まれの人、あいさつが元気な人など)を記入し、サンクスポストに投函する。

4 チケットは施設内の「カフェいこっさ※」で使用。コーヒーの「特別セット」がもらえる

※週1回、13時30分～15時まで営業しているカフェ風の休憩所(スタッフの一部が店員として常駐)。飲み物やお菓子は全品無料で、ご利用者、ご家族、スタッフ誰でも利用できる。

「恩返しチケット」の場合

名前を書かれた人にチケットが渡される

「恩送りチケット」の場合

カフェ内にチケットを掲示。来店者に見てもらい、条件に当てはまる人にチケットが渡される



4 普段・非常時に自発的に行動できるように ご利用者目線のケアを意識づけ自信を高める研修

くまもと成仁病院 指定通所リハビリテーション事業所デイケア成仁(以下、デイケア成仁)では、2016年の熊本地震をきっかけに、普段の生活において、介護福祉士としての自発的な行動が取れ、ご利用者目線の支援ができるようになるための研修を行いました。

ご利用者本位のケアを目指す研修の進め方

1 「介護福祉士として助けを求められたら?」グループワークでスタッフの体験を共有

熊本地震の際の避難所でのスタッフの経験を、グループワークで共有し、「避難所で介護福祉士として助けを求められたら、自発的に対応できるか」について、意見を出し合いました。

誰かの役に立ちたいけれども、実際に自ら名乗り出るのは困難との意見が多数

実際に上がった意見

- 内容次第で判断する
- 緊急時は対応できないと思う
- 自分も被災者なので、自信がない
- 気持ちに余裕がない

2 介護福祉士としての意識についてアンケートを実施

Question Q1 介護福祉士として、必要とされた際に自ら手を挙げられるか

Answer A1

- 手を挙げられる(はい)……88%
- 手を挙げられない(いいえ)……12%
- 情報があれば対応できる
- 簡単な介助ならばできる
- 認知症への対応には自信がない

「はい」と答えたすべての人が自信を持ってできるわけではない



Question Q2 介護福祉士としての自分の強み・弱み

Answer A2

強み

- 一般的な身体介助ができること
- 一人ひとりのニーズに合わせて、多職種と連携し支援できること
- 介護に関する悩みや質問に答えられること

弱み

- 知識・技術が不足していること
- 医療面の知識が不足していること
- セラピストや看護師よりも立場が弱いこと

自信につながる強みが少なく、弱みが目立つ

Question Q3 日ごろ支援において大切にしていること

Answer A3

- 自分が受けたい介護を行うこと
- 業務に対して、向上心を持つこと
- 笑顔を中心掛けること
- 安心して、相談できる存在であること
- 過介護になりすぎないこと
- 日々、努力している姿を見せること
- 気を利かせ、優しい心で接すること

ご利用者目線の回答が少なく、業務優先的な考えや抽象的なものが多い

実際のアンケートの回答を一部掲載しています。